

人権・交流通信



令和6年3月7日
奈良県立奈良西養護学校
地域交流教育部
人権推進委員会

子どもの聴いてほしいこと

「子どもたちは、たくさん聴いてほしいことをもっています。人に聴いてもらうことで安心し、居心地が良くなり、今度は人の話を聴くという心のゆとりがでてきます。」・・・略（奈良県人権教育研究会 広報「なかま」より引用）

みなさんは、最近子どもたちとどのようにコミュニケーションをとりましたか？ 本校にもさまざまな子どもたちがいますが、どの子にも「聴いてほしいこと」があると感じます。言葉だけでなく身振り、手振り、視線など様々な方法で伝えてくれています。私たち大人が子どもたちの言葉をはじめ、ちょっとした行動や仕草などに込められた一人一人の「聴いてほしいこと」を受けとめてあげたいと思います。そして、まず私たちが子どもたちとつながり、子どもたちの人とつながる力を育てていけたらいいですね。

ここにあってよかった奈良西養護学校 交流の様子

本校では、近隣地域のボランティアや、こども園や老人保健施設などとの交流を行い、地域とのつながりを深めるためのさまざまな取り組みを行っています。今回の通信では交流の一部を紹介します。

小学部：地域のボランティアさんたちに2回来ていただき、絵本の読み聞かせをしていただきました。コロナや感染症のこともあり、みんなで集まることのできないことが続いた2～3年でしたが、久しぶりにプレイルームに小学部みんな集まって行うことができました。始まる前はざわざわ…としていた子ども達でしたが、読み聞かせが始まるとだんだん「じー…」と集中し始めました。大型絵本で魅力的な絵本を何冊も紹介していただき、子ども達は釘付けでした！最後は素敵な生歌まで披露していただき、とっても楽しい読み聞かせの時間になりました。



中学部：昨年度に引き続き地域ボランティアの「四ツ葉のクローバー」さんに来ていただき、体育館で全学年一緒に音楽コンサートを楽しみました。普段授業で勉強している馴染みのある曲から普段あまり生で聴くことの少ないクラシックの名曲まで、多彩なプログラムで、生徒達は曲に合わせて歌ったり踊ったり、また、バイオリンやピアノの音色に耳を傾けて落ち着いて静かに観賞することもできました。四ツ葉のクローバーさん達の優しい語り口に、笑顔で手遊びや身体表現をする生徒達の様子も見られ、楽しく温かい一時となりました。最後に生徒達から感謝を込めて、お礼の言葉としごとで制作した陶器の器やグリーティングカードをプレゼントしました。



高等部：今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類になったことを受けて、リモートではなくこども園に赴いて実際に交流会を実施することができました。3年生の「合科の授業」では、5歳児の園児と交流を行いました。2学期より「ごんぎつね」の読解や表現の学習に取り組みました。朗読を生徒それぞれが担当して録音を行ったり、ペープサートを制作したり、生徒の得意なことを生かしつつ、交流に向けて意欲をもって劇の練習に取り組むことができました。2月19日の交流当日は、緊張しながらも、園児達の元気な姿に触れて楽しく交流を行うことができました。また、劇を鑑賞して様々な感想を園児から伝えてもらうことで、日常では味わえない達成感を得ることができました。